

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ラブラドルあさひ館 (児童発達支援、放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	令和7年1月10日		～ 令和7年1月24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和7年1月10日		～ 令和7年1月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月7日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもたちひとりひとりの特性や様子について職員間で話し合い、ひとりひとりに合わせた支援を提供している。	・子どもの強みを活かして、得意を伸ばす支援を心掛けている。 ・ひとりひとりの興味や特性、機能に合わせた玩具を職員間で考え、手作りした玩具を提供している。	・定期的な振り返りと支援の見直しをし、より興味やあそびを広げたり、出来ることが増えるように取り組みたい。 ・提供するあそびやレクリエーション等のアイデアが広がるよう、職員の研修の機会を増やしていく。
2	・ホームページやおたよりにて子どもの様子を写真で掲載し、情報を発信している。	・連絡ノートの言葉だけでは伝わりにくいので、できるだけ写真も使って伝えられるように、イベントや製作、レクリエーション等の様子をブログに掲載するようにしている。	・掲載回数を増やし、内容も様々に広げ発信するようになりたい。
3	・館内は全てバリアフリーで、個室、フロア、ホール、トイレ3ヶ所、ケアルーム、特殊浴槽の設備があり、十分なスペースがある。職員もひとりひとりに配慮出来るように配置している。	・その日の体調や様子に合わせてスペースを上手く活用し、過ごすことができています。 ・職員が個別に関われるように配置に努めている。	・館内のみならず地域の公園や施設等も積極的に利用し、色々な所で楽しく過ごす機会を増やしたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・放課後児童クラブや保育園、児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会が不足している。	・感染症等の体調面に慎重に対応していることや設備的な面でも課題があり、交流に至らない現状である。	・放課後児童クラブや保育園、児童館との交流や、地域の子どもと活動する機会を職員間で検討する。
2	・父母の会の活動や、保護者会、保護者に向けた研修等の開催が行われていない。	・保護者の多くの方は働いており、また子どもがいる時間に保護者が家を空けるのは難しい背景がある。 ・ほとんど同じ学校の生徒の利用なので、学校で機会があれば十分な所もある。	・お家の方々のニーズに対応し検討する。
3	・地域とのコミュニケーションとつながりが薄い。	・地域の情報収集に欠けている。 ・先方と時間を合わせるが難しい。	・更に地域とのかかわりの機会を増やし、つながりを強くしていく方法を検討していく。